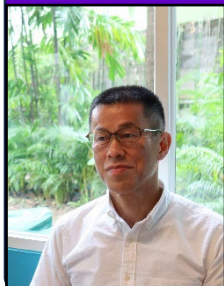


学校組織・学校文化に関する研究



【千葉キャンパス】健康医療スポーツ学部 医療スポーツ学科

トレーナー・スポーツコース 准教授

橘田 進 Kitta Susumu

URL: [帝京平成大学 教員業績紹介ページ](#)

キーワード: 学校経営・教員養成・健康、スポーツ科学



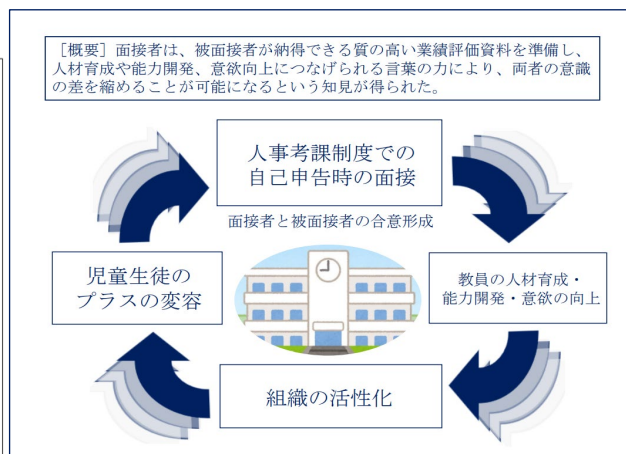
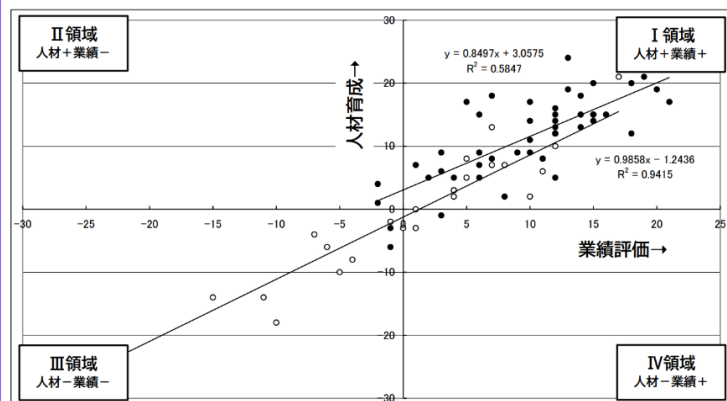
研究の概要

SDGs 目標 3: すべての人に健康と福祉を

SDGs 目標 4: 質の高い教育をみんなに

本研究室は学校経営学を柱とし、「学校の組織文化に関すること」「学校と教育行政の関係に関すること」を主な研究項目としています。学校は複雑な組織であり、異なる職層や校務分掌、教科が連携して機能しています。学校経営学の本質は、学校組織の構造や機能に関し、より効果的な組織の構築や運営方法を模索することにあります。また、学校内で共有されている価値観や信念、慣習などの要素は学校文化と呼ばれており、これらの要素が学校の運営や学習環境に与える影響を理解し、良好な学校文化を構築することによって、学校の質を向上させる必要があります。このように、本研究室では、学校の組織や学校の文化に関わる知見を創出し、教育機関が学習者に対してより良い環境の種を蒔くことができるように研究をおこなっています。

〔研究例〕本研究は、人事考課制度における自己申告時の面接の在り方を検討することを目的とし、面接者である管理職と被面接者である教員を対象に質問紙調査を実施した。グラフは、面接者（●）の実施意識と被面接者（○）の受容意識の差異を示し、図は研究成果の概要を示している。これらの結果から、人事考課制度における自己申告時の面接では、人材育成や能力開発を支援する視点をより重視することが重要であることが明らかになった。このような面接の充実は、教員の成長を促すとともに、学校教育全体の質的向上にもつながることが期待される。



実学へのつながり・産業界や自治体へのアピールポイント・協力可能事項・協力希望事項

学校は現在、「主体的・対話的で深い学び」の実現、児童生徒の多様な個性の尊重、ICTの活用、働き方改革など、実に多くの課題に直面しています。このための、本研究課題は、産業界とは一見関係がないようにも思われますが、将来社会で活躍する児童生徒の教育環境の課題であるとする、非常に関係性が高いものと思います。また、子どもたちの学習活動の基盤となる、心身の成長過程に関与する、保健体育科教員の養成、スポーツ指導者の養成等は、日本の将来を担う人材の育成のためにとっても重要であると感じています。

知的財産・論文・学術発表など（詳細は右上 QR コードの教員紹介からご確認ください）

〔論文〕組織をマネジメントするための学校経営計画の在り方

〔発表〕独立行政法人 教員研修センター（教職員支援機構）「学校組織マネジメント指導者養成研修」